



全中進ニュースレター 2022年1月号

全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会 会長 佐藤 圭一

ホームページアドレス：<http://zenchusin.wix.com/zenchusin>



2022年 新年 会長挨拶

全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会

会長 佐藤 圭一

新年あけましておめでとうございます。2021年の研究大会は、コロナ禍で誌上発表が多い中、第62回北海道キャリア教育・進路指導研究大会オホーツク大会を開催することができました。2022年は、さらに通常開催ができますことを祈念しております。しかし、年明けよりオミクロン株の感染拡大により第6波が到来し始めました。第6波を乗り越え、日常の教育活動と進路指導・キャリア教育研究を推進する年にして参りたいと考えております。全国の先生方、関係の皆様におかれましては、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和3年度 各地区(ブロック)大会の概要について

(1) 第47回関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会栃木大会誌上発表

大会主題「将来を見据えて自己の生き方を広げる進路指導」

～学ぶ意欲を高めるキャリア教育を通して～

第1分科会「各教科」

第4分科会「総合的な学習の時間」

第2分科会「道徳」

第5分科会「縦の連携」

第3分科会「特活、学級活動」

第6分科会「横の連携」

新型コロナウイルス感染症の変異株による感染症が発生している等、影響が今後も懸念されますこのような状況下であることを鑑み、講演会や公開授業、分科会発表等を行わないことといたしました。予定されておりました第47回関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会栃木大会の公開授業や分科会発表につきましては、「大会誌」を発行し、誌上での発表とさせていただきます。

(2) 第 62 回北海道キャリア教育・進路指導研究大会オホーツク大会開催

〈研究主題〉 未来を拓き、夢に向かって自ら生き方を創る児童・生徒の育成

～生き方教育の充実をめざして～

日時：令和 3 年 1 2 月 2 0 日(月)実施

会場：〈主会場〉 訓子府町公民館 〈授業会場〉 訓子府町立訓子府中学校

内容：〈公開授業〉

訓子府高校（3年選択）&訓子府中学校（2年技術）による

共同学習「くんねっぷ学」～学習成果発表会～

〈開会式・大会長挨拶〉

北海道キャリア教育・進路指導研究会会長 飯田雄士様

(標津町立標津町中学校長)

〈基調発表〉 オホーツク管内キャリア教育研究会研究部長 小野寺幸司様

〈実践交流会・研究協議〉

十勝地区の「実践発表」及び根室地区の「全中進レポート発表」

「『キャリア・パスポート』の活用」に係る実践交流と研究協議

〈記念講演〉 演題 「学校キャリア教育への期待」

講師 訓子府町長 菊池 一春 様

〈閉会式〉 オホーツク管内キャリア教育研究会会長 上野弘一様

(訓子府町立訓子府中学校長)

研究大会にあたりまして、盛大に開催できましたことは皆様のご協力を賜りましたお陰です。網走地方教育研修センター様、オホーツク管内キャリア教育研究会様、北海道教育委員会 北海道教育庁オホーツク教育局 訓子府町教育委員会 日本教育公務員弘済会北海道支部様、協力校の北海道訓子府高等学校・訓子府町立訓子府中学校の皆様、関係の皆様、全国中学校進路指導・キャリア教育連絡協議会並びに、北海道キャリア教育・進路指導研究会より厚くお礼申し上げます。

2022 年度の小中学校教職員定数改善、4690 人増予算案決定

政府は教育環境改善のため、2022 年度に公立小中学校の教員を 4690 人増やす。教員の負担軽減を図る狙いがある。うち公立小学校 5・6 年「教科担任制」で 950 人増やす。文部科学省は教科担任制を段階的に拡大し、2025 年度までの 4 年間で加配定数の 3800 人増を目指す。22 年度から高学年の外国語（英語）、算数、理科、体育で教科担任制を拡大する。「35 人学級」は、22 年度小 3 学年が対象となり 3290 人の教員増となる。しかし、少子化に伴い全体教員数は 2502 人が自然減。

学校外の支援スタッフの活用に 97 億円を計上し「働き方改革」を進める。「教員業務支援員」は、1050 人増の 1,0650 人となる。中学校の「部活動指導員」は 450 人増の 1,1250 人を確保する。「GIGA スクール構想」で小中学校の端末を学びに生かす、デジタル教科書普及促進に 23 億円を投じる。2021 年度補正予算 65 億円と合わせ、英語等デジタル教科書を提供し実証実験を進める。